

『楽しい&エコ』な暮らし、いっしょにはじめましょ♪



季刊

えこびと

第15号
2015年1月

本年もどうぞよろしくお祈いします★

特集1 エコットフォーラム 2014

「からだも地域もよろこぶおいしいごはん」

特集2 スタッフ研修

「いま、求められる環境教育とは」

エコメンみ〜つけた♪ (稲熊 なつみさん)

とよたのマチねた紹介

(自分のためにおうちカフェ、お下がりマーケットに参加)

主な活動 (2014年10月~12月)

活動レポート

会員突撃インタビュー (本多 慶子さん)

お知らせ

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会 (エコライフとよた) の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています

エコットフォーラム 2014

「からだも地域もよろこぶおいしいごはん」を聴講して

「食」に関する講演と映画があると聞き、とても興味深く思い聴講させていただきました。私自身「食」に関わる仕事をしていますので、普段から食に関してたくさんの疑問や思いをもって生活をしています。



社会にはたくさんの食べ物が溢れ、また、様々な情報が飛び交っています。その中で主婦は一家の健康を支える大黒柱として、食べる為の「買う」「作る」「食べる」「片付ける」というプロセスをこなしています。主婦の社会進出が盛んな近頃、仕事を持ちながらこれらをやっていくのは大変なことです。

「食」の中で私が一番考えている事は、

“**バランスの良い食事**”を家族に食べてもらうことです。バランスは四群点数法を取り入れています。これは、すべての食品を4つに分け、何をどれだけ食べればよいか分かりやすくなっています。1つ1つの食品の成分を考えるのは大変ですが、大きな括りでバランスを取るのは慣れると楽なことです。

そうは言っても1日3食…疲れる時もあります。時には、カップラーメンを食べます。その際、青葉を入れてからお湯を注ぎます。タンパク質が足りないと思ったらハムも入れます。3分過ぎたら青葉入りラーメンの完成です。そんな簡単なことも取り入れながらのバランス食です。

“**買う**”という行為では、社会とのつながりの中で多くの不安や疑問を感じています。より新し

い物を買求める為、まだ食べられる物がどんどん捨てられていくと聞きます。そのことはごみ問題に直結します。私は牛乳売り場の前で、1日でも新しい牛乳を買っていいか？餃子の皮の前で、少しでも新しい日付の皮を買っていいか？迷います…

私が古い方を買えば、この食品は捨てられずに済むのではないか！！ と、つぶやきながら…

添加物や農薬問題もあります。トヨタファームの鋤柄さんもおっしゃっていた豚肉など…。例えば、見た目が変わらない豚肉が2つ並んでいたとします。1つは高く、1つは安い。何も表示がない場合は、安い方を買うことが多いと思います。では、高い方にだけ「こんなに良い飼育をしています」と表示があった場合、それでも迷う人が多いと思います。それに加え、安い方に「餌は病気にならないよう多くの薬が使われています」と書いてあったとしたら、その時初めて、私たちは選ぶことをするのだと思います。

いま、これほど多くの「食」に関する課題がある中で、売り手側は正しい情報を伝えて頂き、買う側の私たちは、その情報を得る努力をもっとしなければならぬと痛感しています。

これからも“生きるための食”と“気持ちを豊かにしてくれる食”とを両立させ、社会とつながりながら意識して「食」と向き合っていきたいと思っています。
(横井 なをみ)



右から、大林 千菜葵さん、鋤柄 雄一さん
長田 絢さん、坂本 竜児さん

エコメンみ〜つけた♪



11月16日(日)
eco-T 主催講座
「いきものめぐみ塾まち編」で
お世話になった
フェアトレード
ショップ anam
(元城町)に伺
いました。

ショップを行いました。ハロウィンの時には、豊田市駅周辺の14店舗と一緒に「キャンディGETマップ」を作り、お店に遊びに来てもらえるようにしました。

Q ご自身のエコライフを教えてください

固形石けんを使っています。また、へちまのたわしや布で食器を洗っています。その布は、多少の汚れなら洗剤は必要なくデザインもかわいいので気に入って使っています。

Q お店の名前「anam (アナム)」の意味は？

このお店をオープンするにあたって応援してくれた母やいとこ、親友の頭文字を取りました。また、偶然ですがフィンランド語で「心」「魂」という意味もあるそうです。店名にも入っている『Happy Cycle』はサブタイトルで「幸せの循環」ですね♪

Q フェアトレードのきっかけは？

高校生の時にオーストラリアに2年間留学し、その後、イギリスでアパレル関係の会社でインターシップを経験しました。その際、セールで服を70%OFFで販売した時に、この価格の原価って?! という仕組みになっているのだろうという疑問が湧きました。いろいろ調べていくうちに、弱い立場の人が隠れていることがわかりました。それで消費者から見えない弱い立場の人に光があたるようにと動き始めたのが4年前、お店は2年前にオープンしました。

Q どのような活動をしていますか？

通常営業のほかに、拳母神社の八日市に出店したり、2ヶ月に1回、お店の駐車場に数店が集まり『ハッピーサイクルマルシェ』を開催しています。また、子どもたちに伝えるイベントとして、サリーをリサイクルしてプレスレットを作るワーク

Q 今後の活動や想いを教えてください

ワークショップを開催して楽しくフェアトレードのことを伝えたいです。

私は、人の幸せは人とのつながりから生まれると思っています。フェアトレードだから買うのではなく、良いものだから買う。また、環境や伝統的文化を守っていくことも大切なことです。だから、みんなにフェアトレードという選択肢があることを知って欲しいです。買った人も売った人も作った人もみんな幸せ。

まさに『Happy Cycle』です。



anam (アナム) 豊田市元城町2丁目2-2

HP <http://anam.sakura.ne.jp>

<今後の予定>

バレンタインフェアとフェアトレードの話
3/16 『ハッピーサイクルマルシェ』



シンボルツリーのオリーブにハートの葉を見つけてHAPPY♡お土産にチョコレートとプレスレットを買いました。

私たちの心と体にも幸せを感じた買い物でした。

(エコメン取材チーム 長嶋一枝、赤坂洋子)

とよたのマチねた

自分のためにおうちカフェ

「おうちカフェはじめてみませんか？」

こんなフレーズでスタートしたのが、大林町のカフェモカモカとのコーヒー教室。16回開催しています。

きっかけは、子連れではなかなかゆっくりお店でお茶出来ないよね。来客時に美味しいコーヒーでおもてなしが出来ないんだよね。そんな私のつぶやきからでした。

豆の1つ1つを丁寧に手で選別している自家焙煎の美味しいコーヒーをより多くの人に飲んでもらいたい。

そんなマスターの思いと重なり、教室が始まりました。

ハンドドリップ、ティスティング、アイスコーヒー、ラテアートの4教室があります。どの講座もマスターからレクチャーと自分で体験。講座の最後に手作りスイーツとコーヒーでお茶タイムも楽しみの1つです。講座を受けた後、「あれ？今日はイマイチだな…」「わあ！今日はおいしく淹れられた」など、すぐに思うようにできないこともおもしろさの1つ。私も講座を受けてから余裕のある時はハンドドリップで淹れるようになりましたがまだまだ修

行中。お店で美味しいコーヒーを飲むのも素敵ですが、家族、お友だち、お客様、そして自分のためにおうちカフェをはじめ、素敵な時間をすごしませんか？（ちびくろさんぽ 杉山）



参加者募集中！

- 2月23日（月）10時～12時
「第9回 ペーパードリップ講座」
参加費：1,500円
コーヒー豆のお土産・スイーツ付き
- 3月9日（月）10時～12時
新講座
「いろいろな器具でいれてみよう」
参加費：1,500円
コーヒー豆のお土産・スイーツ付き

お下がりマーケットに参加

10月13日（月・祝）、11月10日（月）と清通寺（石野地区）で行われた「お下がりマーケット」に参加しました。これは、ベビーダンスを中心とした子連れママ向けのイベントを企画している「とよた市民活動団体 ママだっこ」主催のイベントで、不要になった子ども服を持ち寄って、必要な人にあげる、という企画です。

「フリマとなにが違うの？」と思う方もいるかもしれませんが、フリマとなると場所を確保したり、値段を考えたり、品数を用意したりとなにかと敷居が高い！でも、この「お下がりマーケット」はとても敷居が低いんです！

参加費は、①持込みなし・持ち帰りあり 500円、

②持込みあり・持ち帰りあり 300円、③持込みあり・持ち帰りなし 0円。

使わなくなった服を気兼ねなく人にあげられるし、そこで新たな服との出会いがあるのも魅力的です。たまたま手に取った服のタグに知り合いの子の名前が書いてあったり、3人のお宅を巡ってきたわが子の靴との再会があったりなど、なんだかほっこり嬉しいものです。

新生児の子を持つ私は、2回とも30着ほどの服を、毎回たったの500円でゲットすることができました！不定期で市内各所での開催ですので、ぜひ、ママだっこのさんのブログなどをチェックして参加してみてください。（三宅里恵） ママだっこブログ：<http://ameblo.jp/baby-dance-toyota/>



とよたエコ人プロジェクトの主な活動 (2014年10月~12月)

●9/26 飯野小学校へ出前授業



NPO 法人アスクネットがコーディネートしている環境学習に参加。CBC ニュースでも紹介されました。

●10/10 西尾市リサイクルプラザ&R e創庫視察



リユースのしくみを学びに。両施設ともいろんな工夫がありました。やっぱり、リサイクルよりリユースだね。

●11/7 とよた再生可能エネルギー講座開講 (P9)



豊田市は再生可能エネルギーの導入を 21% (2011 年) から 2030 年までに 30%に引き上げることを目指しています。

●11/13 展示製作ワークショップ キックオフ!



環境配慮資材、燃料電池車、入口正面マップの 3 つの展示を更新する予定です。

●11/15 武豊火力・メガソーラー、碧南火力見学



愛知県地球温暖化防止活動センター主催の見学会に参加しました。近々、eco-T の研修でも訪問する予定です。

●11/16 いきものめぐみ塾まちのめぐみ編



エコフルタウンを基点に、近代の産業とくらし発見館、児ノ口公園、フェアトレードショップアナムを訪問。

●11/22 ローカル・エネルギー・フェスタ (P8)



再生可能エネルギーをテーマにしたイベントをエコフルタウンで他団体と共催しました。

●11/26 豊田市環境学習連携会議



市内学習施設・自然体験施設などが一堂に会して情報交換。

●11/29 第2回とよた市民活動フェスタ (P9)



かえっこパズル大人気！団体PRもしました。

●11/30 第3回いなかとまちの文化祭 (P9)



スタッフ全員でパチリ。マルシェ、ステージトーク、LIVE、カフェとまったりしたイベントでした。

●12/1 スタッフ研修
いま、求められる環境教育とは (P3)



●12/5 eco-T 来場者 15万人達成！



子育てサークルでした。とよたNOWで放送されました。

●12/14 エコットフォーラム 2014
からだも地域もよろこぶおいしいごはん (P2)



食と地域は身近なテーマ。116人の参加がありました。

●12/19 とよた再生可能エネルギー講座終了 (P9)



最終回は現地見学会。雪の残る中の見学会となりました。

活動レポート

●レポート1 —————> 太陽光発電電組み立て講座 (11/8)

まず講座の参加料金、年金受給者のふところ具合には微妙な金額だが、定員 10 名で満員になっては困るとトップをきって申し込んだ。やはり 47,800 円 (税込) は、高価な印象だったのか、その後なかなか応募者がなかったようで、周りに声をかけてみた。結局は興味津々の面々で、定員オーバーの 11 組となり実施できた。

会場に行くと、机上に準備された、ソーラーパネルとバッテリー、インバーター、チャージコントローラー、シガーソケットなどを目前にして中学生レベルの電気知識しかない私の脳裏を不安がよぎったが、参加者同士でワイワイガヤガヤしながらの作業は結構楽しかった。藤野電力の Mini 太陽光発電システム組立作業ガイドに沿って「あれとこれとそれをつなぎましょう」で始まり銅線と金属端子を工具で圧着する作業をケーブル、コネクタ、棒端子、丸型端子といった聞きなれない言葉の中で約 4 時間格闘の末、めでたく完成！

「電気を自分で作る我が家の発電所」にハマってしまった。こんなに毎日の天気が気になるなんて小学校の遠足以来？ たった 50w のパネルで 12V のバッテリーではあるが、天気が良ければ毎日充電でき、現在ノート PC、携帯、スマホ、DVD プレーヤー、ハンディクリーナーなどの充電に大活躍中。洗濯と布団干ししか太陽光を意識してなかったあなたにもお勧めのオフグリッドです。朝起きると先ずパネル出せるかな？ と、楽しみがひとつ増えて「晴れる」⇒「充電」の図式で目覚めが良い、早起きの為に想定外の効果です。

ただいま、毎日重いパネルとバッテリーのセットを家の外に出し入れする作業がもう少し手軽にできる台車を思案中！ 大工仕事の苦手な私に救いの手をお待ちしています。(本多慶子)



●レポート2 —————> ローカル・エネルギー・フェスタ in とよた (11/22)

とよたエコフルタウンを会場に「みんなで考え、みんなでつくり、賢く使うエネルギー～地域の経済循環を目指して」というテーマで、親子向けイベントとフォーラムを開催しました。



▼親子向け体験イベント 来場者数：200 人

「かえっこバザール」や「エコ工作」を通して、物を大切にすることの大切さを親子で楽しく感じることができました。



▼フォーラム

参加人数：60 人

1) 基調講演

「これからの時代の心豊かな暮らし方とは？」をテーマに東北大学名誉教授石田秀輝氏から、今考えるべき問題、環境と成長の両立、持続可能な社会、心の豊かさについて学ぶ時間となりました。

2) パネルディスカッション

「教えて石田先生！ エネルギーをどう創り、賢く使うか」をテーマに 3 人のパネリストが石田氏に質問を投げかけ、私たちの生活と環境問題について、深く考える時間となりました。



今回パネリストとして参加し、緊張をほぐそうと親子向けイベントで走り回り、スマホを落とし画面が割れる！というハプニングで、デビューを飾ってしまいました。たくさんの方にお会いできたり、新しい知識がいたり大変楽しい時間になりました。ご来場いただきましたみなさま、ありがとうございました。(星先愛)

●レポート3—————>
市民活動フェスタ (11/29)
& いなかとまちの文化祭 (11/30)
—————>

2日続けてイベントは大変だなあと思いながら両方とも企画からかわかりました。

昨年の市民活動フェスタは市民活動を応援するイベントになったのだろうか?と疑問を持ち、今年の実行委員として「市民活動のためのフェスタにしたい」と思っていました。申し込むのをすっかり忘れていました。とよた市民活動センターに相談に行き、実行委員のみなさんのご厚意で、私もアドバイザーという立場でメンバーに加えてもらうことになり、朝グループでかえっこバザールとエコ人のPRブースを出展しました。



イベントは、朝、昼、夜に多彩な市民活動団体がかわる場として、また、活動者がコラボレーションする機会として楽しくて有意義なイベントになりました。

そして、翌日の第3回いなかとまちの文化祭。T-faceの下、シティプラザで「こころを耕すくらしのマルシェ」とペDESTリアンデッキで「いなかとまちをつなぐカフェ」、ステージはLIVEやミニシンポジウムを開催しました。



金曜日に土曜日の準備、土曜日にイベントを開催しつつ日曜日の準備、そして日曜日開催と、続けての準備・開催は、やっぱりとても大変でしたが、エコ人は、環境をテーマにした市民活動を応援する団体でありたいし、都市も農山村も境目なく持続可能性を解決したい、という思いが強くなりました。心残りは、2つのイベントの連携ができなかったこと。これについては、私の宿題として今後を持ち越します。(坂本竜児)

●レポート4—————>
とよた再生可能エネルギー講座が終了!
—————>

限られた地下資源のエネルギーを使うくらしから、無尽蔵にある「太陽、水、木」を活かしたくらしへの転換、豊かなライフスタイルについて考えながら、再生可能エネルギーの現状を学び、先進地の見学を行いました。

この講座は、エコフルタウンにある「豊田市再生可能エネルギーセンター」の事業として、エコ人が企画運営をしました。

◆
メイン講師：高野雅夫氏
(名古屋大学大学院環境学研究科教授)

■第1回 11月7日(金)
「再生可能エネルギーって?」
ゲスト講師：影浦健一氏(宮田電工、豊田商工会議所青年部)

■第2回 11月21日(金)
「太陽光発電から考えるエネルギーのかしこい利用」
ゲスト講師：南澤桂氏(ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社)

■第3回 12月5日(金)
「安定供給優等生!水力発電に取り組もう」
ゲスト講師：岡村鉄兵氏(名古屋大学大学院環境学研究科附属・持続的共発展教育研究センター研究員)

■第4回 12月19日(金)
「豊田市内先進地見学ツアー」
①日本ルツボ豊田ソーラーパーク
②里山くらし体験館すげの里
③千年持続学校・板取の家
<寄り道：獣害対策用電気柵の小水力発電>
④水車の里つくば

◆
講座では、少し難しい内容もありましたが、4回目の見学先で、講座中に話題に出たものを目の当たりにし、より一層理解が深まり、興味がありました。再生可能エネルギーの導入は、自然の力を最大限に生かすこと。だからこそ、地域に合ったものを地域のことを一番よく知る住民の力で取り入れられると素敵だなと強く感じました。

(星先愛)

人の輪とチャレンジ精神で楽しい毎日を送っています。



今回のゲストは本多慶子さん。スマホやSNSを自在に使いこなし、新しいことには何でも挑戦する年齢を全く感じさせない、アクティブな方です。

から、eco-Tのシフトに入って相方のインターブリーターや事務局スタッフと話をしている時とても楽しく、さらに勉強にもなるから一石二鳥・三鳥だなと思っています。最近はインターネットのおかげで24時間、いつでもだれとでもつながっていられます。だから、主人が寝てからの1〜2時間はインターネットをして楽しんでいます。また、スカイプを利用して遠く離れた孫と毎日連絡をとっています。もちろん、夜行バスに乗って孫に会いに東京に行くときもありますけど。

Q. はじめに、趣味はなんですか？

A. パッチワークが好きで、30年以上続いています。子どもの服は自分で作っていました。主人の仕事の都合で東京にいたときは、友人の誘いでパッチワークの雑誌に作り方のページも掲載していました。他にもパソコンの無料講習会に出向いたり、社交ダンスをしたりと、お金をかけずに遊べる（学べる）ことは何でも挑戦しています。今も手話サークルに通っています。色々な経験が、私の世界を広げてくれる感じがして、とても楽しく過ごしています。

Q. 最近、心に響いたり感動したりしたことを教えてください。

A. 10月の豊田市自然観察の森でのシフトの時に、難聴の方が来館されて、「手話を使えるチャンス」と、手話で対応をしました。手話ができることを伝えたときのその方の笑顔は忘れられません。私もお役に立ててとてもうれしかったです。また、チーム南家のお母さんとして娘たちがリユース工房に関わったり、代表のお嫁さんになったりと、eco-T関係者になり、とてもうれしく思っています（笑）

Q. ほっと一息つける場所は？

A. 人が好きで、お話したり、一緒に活動していたりしている時が一番ほっとしている時です。だ

Q. eco-T やエコ人に対してひとこと

A. 私は賛助会員としてエコ人には関わっていません。今年は所用で初めて総会を休んでしまいました。「豊田市民がeco-Tを運営する」という活動に賛同しました。eco-Tに来るたびに展示室に変化が見られて、期間展示や展示製作に関わる人のおかげだと感心します。あとは、新しい人をどうやって巻き込んでいけるかがポイントではないでしょうか。事務局は、男性がもっといきいきと仕事を続けられる職場になって欲しいなと思っています。



挑戦したことが長続きする本多さんに、その秘訣を聞くと、「一緒に活動する仲間はとても大事」と教えて下さいました。このインタビューの後すぐに、地元の友人に電話をしました。

（会員突撃チーム：岩月桂子・水野雄介）



豊田市環境基本計画勉強会

今年もやります！

環境基本計画の内容と進捗を学びます。また、新環境基本計画に向けた市民の役割について考えます。

- 講 師：松井真理子教授（四日市大学総合政策学部）
- 日 時：2015年1月31日（土）13：00～16：00
- 場 所：豊田市環境学習施設 eco-T（エコット）
- 住 所：豊田市渡刈町大明神 39-3 渡刈クリーンセンター内
- 参加費：無料（カンパ歓迎）
- 主 催：NPO 法人とよたエコ人プロジェクト
- 申し込み・問い合わせ先
電話 0565-50-5684 メール info@t-ecobito.jp

交通安全学習センターで
開催するケロ！

かえっこバザール
開 催
Kaekko

2月1日(日) 9:30～16:30
学習館1階・教室

**2月8日（日）出張！eco-T
世界にひとつのマイバッグづくり**



愛知芸術文化センター1 2F
（名古屋市中区東桜）

イベントの詳細は
「エコリンクあいち」で検索
<http://aichi-eco.com/>

未来へのエコトーク

2015
3/1
【日】

100年後の地球の姿
世界中の研究者がまとめた報告書から見える100年後の地球とは？ 数字から見える事実は恐ろしい！

おのぞ 小野寺 拝 さん
(認定NPO法人 FoE Japan 気候変動プログラム顧問)

コンピューターエンジニア、フリーライターを経て、1992年 FoE Japan 入り。FoE International 理事及び CAN-international 理事を経て、現在は FoE Japan 気候変動プログラム顧問。

- 会 場：豊田市環境学習施設 eco-T 2F 多目的室
- 日 時：3月1日（日）13：30～15：30
- 参加費：無料 定 員 50名
- 申込先：電話 0565-26-8058

「とよたエコポイントナビ」がオープン



「エコポイントナビ」で検索
<http://toyota-efami.com/>

エコ人からのお知らせ 新規会員募集中！

〔会員特典〕

- ・ほぼ季刊で「えこびと」をお届けします。
- ・会員メーリングリストに登録できます。講座やイベント、世の中のエコ情報が届きます（不規則）。
- ・講座やイベントに会員特典（参加費の割引など）を受けられることがあります。
- ・e-cafe チケット3枚プレゼント！
3/26は2周年記念コンサート
コーヒーを飲みながらエコ井戸端会議、eco-Tで毎週木曜日に開催しています。
- ・少人数の会議や作業などで事務所を利用できます。
- ・スタッフや理事に気軽に質問や相談ができます♪(笑)

*入会方法については、お気軽にスタッフや理事にお問合せください。

新スタッフ紹介！

昨年の秋から事務所・eco-Tのスタッフを拡充しました。

●田原愛子さん（eco-T 受付業務）

現在小学6・2年娘の子育て中です。大林町から自転車で通勤しています。趣味はテニスと旅行。eco-Tはインプりさんや事務局のみなさんから学ぶことが多く、楽しいです。よろしくお願いいたします。

●堀裕紀さん（eco-T 受付業務）

エコや環境について興味がありました。働き始めてみると知らない事ばかりで、毎日学ぶことがいっぱいです。これからも学びながら働いていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

●星先愛さん（事務所スタッフ）

初登場ながら、この15号で活動レポートを2つも書かせて頂きました。まだまだ未熟者ですが頑張っって参りますので、よろしくお願いいたします。

〔会費〕

正会員	10,000円（議決権あり）	
賛助会員	一般	1,000円/□
	学生	500円/□
	非営利団体	3,000円/□
	営利団体	10,000円/□

*エコ人の年度は6月～5月です。

〔現在の会員数〕

正会員 22人、賛助会員 49人・3団体

〔エコ人プロジェクト事務所 MAP〕



編集後記

11月から12月はイベント続き、どれも楽しく大変でしたが、一番印象に残っているのは、エコットフォーラムで見た映画100年ごはんの「はじめのはじまり」というセリフ。はじめのはじまりをはじめつつ、次の展開をイメージすることも大事な一、回数を重ねることも大事ですが、イベントを開催することだけが目的になってはいけませんね。

発行・編集 ^{びと} NPO 法人 とよたエコ人プロジェクト

〒471-0025 愛知県豊田市西町1-88 カニックビル5階

TEL: 0565-50-5684 FAX: 0565-50-5568

メール: info@t-ecobito.jp

ホームページ: <http://t-ecobito.jimdo.com/>

最新情報はホームページへ

エコ人

検索